

愛称は「さんさく不知火アリーナ」 熊本高専八代キャンパス体育館

八代市の熊本高専八代キャンパスは、校内の第一体育館の名称を「さんさく不知火アリーナ」とするネーミングライツ（命名権）契約を三井三池製作所（東京都）と締結した。熊本高専が学校施設の命名権契約を結ぶのは初めて。

契約期間は9月1日から3年間。契約額は非公表。収益は施設全般の運営、維持管理費に充てる。3月に命名権者を募集し、同社が審査で選ばれた。

愛称の「さんさく」は社名の略

三井三池製作所が命名権

称。同社は福岡県大牟田市に九州事業所があり、同校の卒業生が就職するなど交流がある。体育館は学生が授業や課外活動で使うほか、一般市民も有料で利用できる。

9月26日に同体育館で開いた記念式典には、高松洋校長と中村元彦社長が出席し、外壁と玄関ホールに設けた愛称の看板をお披露目した。同キャンパスは「広報紙やホームページなどで愛称の普及に努める」としている。

（河内正一郎）



熊本高専八代キャンパスの第一体育館の愛称を紹介する看板。9月29日、八代市